

孤独の食いしん坊

于 成

以前、「孤独のグルメ」というドラマを見ました。思わずよだれを垂らしてしまいました。そんな料理をぜひ食べてみたいと思いました。

その時はまさか数年後、日本へ来ることになるとは思いませんでしたが、私は日本へ留学に来ました。そして、ついに日本料理を食べたのです。種類はそんなたくさん食べていませんが、少し感想があります。

ドラマによると、日本料理は中華料理より味が薄いそうです。しかし、実は味の強さは同じぐらいだと思います。例えば、フライや炒め物などです。意外でした。手を加えずできた食べ物は味によくありません。これは、日本人はおいしい味にするために健康のことを考えないのでしょうか。いえ、違います。調味料も食材もなるべく自然のものを使っているのです。心配ないと思います。

それから、日本ではご飯を食べる前に「いただきます」、食べた後で「ごちそうさまでした」と言います。私はこの言葉がどうしてもうまく言うことができなくて、困っていました。何か変なのです。

この間、日本人の友達と一緒にご飯を食べたのですが、料理が来た時、私は友達のその言葉を待ちました。「いただきます」という言葉を聞いた時に、食べ物に対する感激を感じました。ですから、私も言ってみました。すると、なんとなく私も同じ気持ちになったような気がしました。

今、平日は授業が終わってから、自分で料理を作って一人で部屋で食べています。自分の時間と空間で食べるのは「孤独のグルメ」のようです。ちょっとさびしいですが、食べ物に対してありがたい気持ちになります。最近、私の「いただきます」と「ごちそうさまでした」という発音は日本人の発音に近づいたような気がします。